

# 当初予算

問合せ

企画財政課 Tel 47-80012

平成21年度南越前町当初予算が、3月議会定例会で審議され決まりました。平成21年度当初予算は、町長の任期が平成21年2月12日であったことから「骨格予算」(※1)として編成されています。通常の予算編成を行った平成20年度当初予算と単純に比較することは適当ではありませんが、ここで主なものを紹介します。

なお、政策的な経費については、平成21年度補正予算で「肉付予算」(※2)として補正予算を編成する予定ですので、決まり次第お知らせします。

## 一般会計

### ◆平成21年度一般会計予算の概要

日本が戦後、経験したことのない不況の中、南越前町の平成21年度当初予算は「骨格予算」として編成しました。

しかし「骨格予算」としながらも、平成21年度早々に着手しなければ、住民生活に著しく支障をきたす事業や住民福祉向上のために必要不可欠な経費については、積極的に予算化しました。特に、材料代などの高騰により、値上げを検討してきた小中学校などの給食費は、昨今の厳しい地域経済情勢を踏まえ、値上げ相当分を平成21年度は町で負担することとしました。また、歳入において地方税の減収などによる深刻な一般財源不足が推

測されることから、昨年度に財政健全化計画を策定し、さまざまな課題を掲げ、その解決に取り組んでいます。町債についても発行限度額の上限を定めることにより、抑制を図り健全な財政運営に取り組んでいくとともに、公債費が、平成23年度に償還額のピークを迎えるため、減債基金の計画的な積立で備えます。

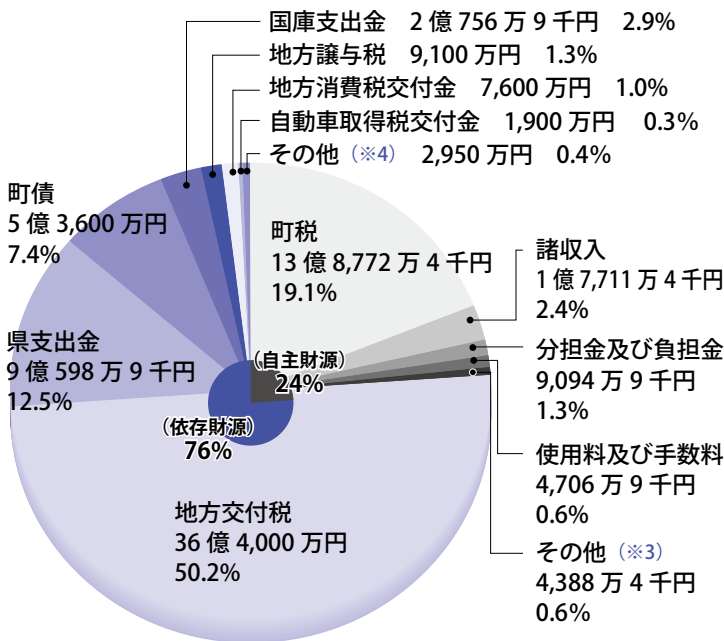
経常的な経費が予算の約9割を占めている硬直化した財政事情を踏まえ、人件費や物件費の更なる節減に全職員で取り組み、政策的な経費を捻出し、住民福祉向上に資するまちづくりに努めています。

## 歳入

町の自主財源は、不況の影響から町税の中でも法人住民税が大幅に減少したほか、自動車取得税交付金をはじめ各種交付金の大半が減少しています。

歳入予算の7割以上を占める国などに依存している財源のうち、普通地方交付税が地域雇用創出分として増加したほか、国庫支出金については「安全安心な学校づくり交付金」や除雪機械導入に伴う補助金に加え「電源立地促進対策交付金」が交付されることにより増加しています。このうち「電源立地促進対策交付金」は日本原子力発電所敦賀3、4号機の建設に伴うもので、本来、平成22年度から交付予定でしたが「南条中学校耐震大規模改造事業」の緊急性が高いことから特例的に交付されることになりました。

また、町債のうち、後年度に地方交付税として保障される臨時財政対策債の発行可能額が、国の施策により大幅に増加しました。なお、財政の健全な運営に充てるための財政調整基金や減債基金などの繰入金は計上していません。



※3の内訳：財産収入 3,601万7千円 0.50%、繰入金 786万7千円 0.11%  
 ※4の内訳：地方特例交付金 1,120万円 0.15%、利子割交付金 1,100万円 0.15%、配当割交付金 400万円 0.06%、交通安全対策特別交付金 230万円 0.03%、株式等譲渡所得割交付金 100万円 0.01%

## 平成 21 年度南越前町予算

# 113 億 8,094 万 2 千円

一般会計 72 億 5,179 万 8 千円

特別会計 39 億 2,559 万 1 千円

企業会計 2 億 355 万 3 千円

### (※1) 骨格予算

予算は、年度内の歳入と歳出すべてについて年間の見通しをたて編成されます。しかし、町長の選挙時期等の関係から政策的な判断ができていくなどの事がある場合、政策的経費等の予算計上を避け、人件費等必要最小限度の予算を編成します。これを慣用的に「骨格予算」といいます。

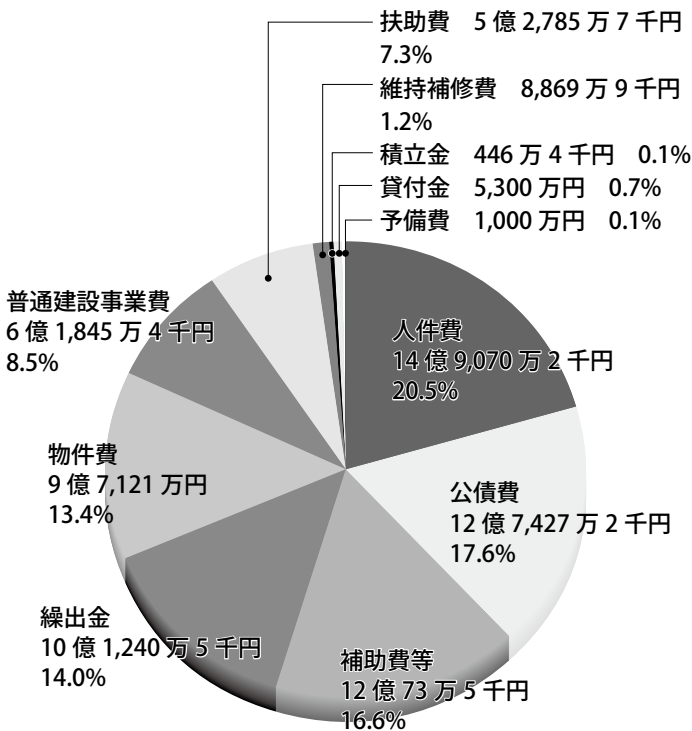
### (※2) 肉付予算

骨格予算を編成しなければならなかった事由が解消された後、政策的経費や新規事業等を加える予算を「肉付予算」といいます。

## 歳出 (性質別)

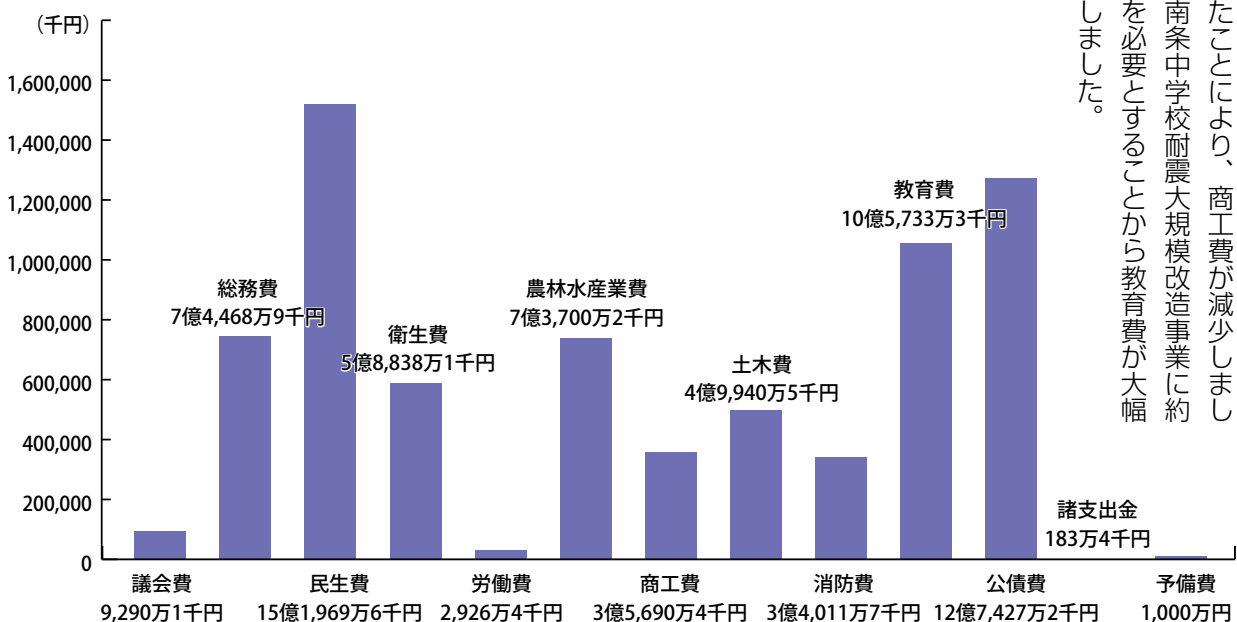
議員報酬や職員給などの人件費は、職員削減によって年々減少傾向にあります。平成21年度の人件費も前年度と比べ、2.6%減少しましたが、未だ予算総額の20%余りを占めています。また、使用料や備品購入費などの物件費について経費節減を図り2.3%減少しています。社会保障関係経費である扶助費は、前年度と比べ3%近く増加し、今後も増加することが推測されています。

本来、肉付予算で計上すべき投資的な経費のうち、平成21年度早々に着手する必要がある「南条中学校耐震大規模改造事業」や国庫補助事業である「森林居住環境整備事業」「除雪機械整備事業」などを計上しています。また、予算総額の17%余りを占める公債費は、前年度と比べ微増しています。



## (目的別)

「南越前ダイビングパーク事業」が概ね完了したことにより、商工費が減少しましたが、南条中学校耐震大規模改造事業に約4億円を必要とすることから教育費が大幅に増加しました。



# 平成 21 年度当初予算の主な事業

これらを併せて、住民の福祉向上と地域経済の活力創出を図ることとしました。

ここでは、平成 20 年度 3 月補正予算と平成 21 年度当初予算の主な事業を基本施策ごとに紹介します。

## 住民に優しいまちづくり

### 平成 20 年度 3 月補正予算

定額給付金事業	2 億 467 万円
子育て応援特別手当交付金事業	822 万円
今庄診療所 CT スキャン (コンピュータ診断装置) 整備事業	2,468 万円
今庄診療所診療データネットワーク整備事業	294 万円

### 平成 21 年度当初予算

湯尾保育所外壁補修事業	570 万円
-------------	--------



▲ CT スキャンが更新される今庄診療所



▲ 外壁工事が行われる湯尾保育所

## 安全安心して暮らせるまちづくり

### 平成 20 年度 3 月補正予算

ケーブルテレビデジタル化整備事業	5,212 万円
町道道路改良事業 (町道妙高団地線道路改良事業など)	1 億 5,410 万円
河川災害防止事業 (砂防河川 <sup>しゅんせつ</sup> 浚渫)	2,620 万円

### 平成 21 年度当初予算

国道 305 号道路改良負担金	900 万円
国県道等道路改良負担金	2,702 万円
南条スマートインターチェンジ利用促進補助金	60 万円
特定交通安全施設等整備事業 (町道湯尾社谷線歩道設置)	620 万円
急傾斜地崩壊対策事業負担金 (糠区ほか)	800 万円
除雪機械整備事業	1,895 万円
インターネット帯域増速事業	139 万円



▲ 町道妙高団地線



▲ 改良工事中の国道 305 号線



# 平成20年度3月補正予算および



▲農業用用水路整備予定地（日野区）



▲林道菅谷大谷線開設予定地



▲茅葺屋根の整備が行われる木ノ芽峠茶屋



▲耐震大規模改造が行われる南条中学校

町では、平成20年度3月補正において、国の緊急経済対策にあわせて地域経済の活性化と生活対策を講じるための大型予算を編成し、骨格予算となった平成21年度当初予算においても、早急に取り組むべき課題については政策的経費として盛り込み、

## 生き活きと働けるまちづくり

### 平成20年度3月補正予算

農業用用水路整備事業（日野区）	37万円
山海里プレミアム商品券事業補助金	510万円

### 平成21年度当初予算

中山間地域総合整備事業負担金	3,134万円
森林居住環境整備事業（林道菅谷大谷線）	3,944万円
森林居住環境整備事業（林道榎谷線）	4,041万円
明日の地域農業を支える担い手条件整備事業	873万円
里山エリア再生交付金事業	541万円
大漁まつり開催補助金	30万円

## 人と文化を育むまちづくり

### 平成20年度3月補正予算

木ノ芽峠茶屋茅葺屋根修復事業	504万円
----------------	-------

### 平成21年度当初予算

南条中学校耐震大規模改造事業	4億319万円
私立幼稚園（認定子ども園）運営費補助金	1,524万円
学校給食費支援事業	248万円

## 住民主体のまちづくり

### 平成21年度当初予算

集落自治振興交付金	744万円
集落振興事業補助金	900万円
まちづくり交付金	1,350万円

特別会計予算 **39億2,559万1千円** ( )は前年度増減額

<p><b>国民健康保険</b> 10億6,571万3千円 (2,159万円) 南越前町国民健康保険に加入している人の医療費の給付などを行う会計</p>	<p><b>国民健康保険 今庄診療所</b> 2億7,454万7千円 (△1,755万円) 今庄診療所を運営する会計</p>	<p><b>河野診療所</b> 8,677万4千円 (△494万4千円) 河野診療所を運営する会計</p>	<p><b>特別会計・企業会計</b> 南越前町には、14の特別会計と1つの企業会計があり、特定の事業について独立した予算で事業を行います。</p>	
<p><b>簡易水道</b> 1億7,706万7千円 (879万7千円) 町内8カ所の簡易水道施設と2カ所の飲料水供給施設を維持管理、運営する会計</p>	<p><b>個別排水処理施設</b> 1,117万2千円 (50万8千円) 個別合併浄化槽を維持管理、運営する会計</p>	<p><b>農業者労働災害共済</b> 621万円 (0千円) 町内で農作業中に災害を受けた人を救済する会計</p>		
<p><b>老人保健</b> 384万9千円 (△1億4,465万5千円) 75歳(一定の障害のある方は65歳)以上の方の医療費の給付などを行う会計</p>	<p><b>後期高齢者医療</b> 1億3,966万円 (△1,673万6千円) 75歳(一定の障害のある方は65歳)以上の方の保険料などの事務を行う会計</p>	<p><b>農業集落排水</b> 4億6,596万3千円 (△2,600万4千円) 町内13カ所の農業集落排水施設を維持管理、運営する会計</p>		<p><b>老人保健施設</b> 1億5,434万6千円 (△944万6千円) 今庄老人保健施設を運営する会計</p>
<p><b>介護保険</b> 11億3,631万1千円 (390万9千円) 介護が必要なお年寄りなどにサービスを行う会計</p>	<p><b>ケーブルテレビ</b> 1億1,030万4千円 (△153万8千円) ケーブルテレビ施設の維持管理、運営する会計</p>	<p><b>下水道</b> 2億9,043万円 (△1,985万8千円) 町内2カ所の下水道施設を維持管理、運営する会計</p>		<p><b>代継基金運用</b> 324万5千円 (△38万7千円) 南条地区の青少年および青少年団体の育成を行う会計</p>

**企業会計予算**

**2億355万3千円**

**水道事業 2億355万3千円 (554万9千円)**

南条地区簡易水道事業(5施設)の統廃合により上水道事業として新たに設置した施設を維持管理、運営する会計



**当初予算編成にあたって**

平成21年度当初予算の編成は、税金などの一般財源総額の伸びが見込めない状況や平成19年度の決算状況(※)から、公債費や社会保障関係経費などの義務的な経費の増加が引き続き見込まれる現状を踏まえ、5つの基本的な取り組み方針を定めました。

☆「対話」「調和」「融和」の施策展開を基本に、住民生活に直結した事務事業の適切な選択と重点配分を行いました。

☆一層の行財政改革を推進するために職員数の適正化を中心に定めた集中改革プランや財政健全化計画、公営企業経営健全化計画の目標が達成できるように取り組みました。

☆すべての事務事業について見直しを行い、「不要不急」の事業を抑制し、事業の選択と集中を図りました。

☆活用されていない町有財産や分譲宅地など売却可能資産の処分について再検証しました。

☆特別会計、企業会計、公共施設管理公社等の運営状況を勘案しつつ、税負担の妥当性について再検証しました。特に企業会計を含む特別会計については独立採算制の原則に基づき、適正な歳入確保と徹底した歳出抑制に努めました。

※平成19年度の決算状況に基づき、町の主な財政指標

○**経常収支比率**(人件費や公債費など経常的経費の占める割合で財政構造の弾力性を示す率)

H18 93.9% ↓ H19 91.7%

◆**2.2ポイント改善**

○**実質公債費比率**(公債費および公債費に準ずる経費の状況を示す率)

H18 12.9% ↓ H19 14.0%

◆**1.1ポイント悪化**

▽この率が18%を超えると、現在、知事の同意で発行できる地方債は、総務大臣の発行許可が必要となります。

○**将来負担比率**(公債費や職員退職金など将来支払わなければならない可能性のある残高を示す率)

H19 189.5%

▽県内17市町中、2番目に将来の財政負担の見通しが悪い数値となっています。